




						決算事項別明細書		P81																																																																																																
大事業	10	保健・医療・福祉			担当部署		いきいき健康課																																																																																																	
中事業	10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01	一般会計																																																																																																
小事業	10	保健衛生総務費				款	04	衛生費																																																																																																
事業開始年度		令和4年度				項	01	保健衛生費																																																																																																
事業進捗度		-				目	01	保健衛生総務費																																																																																																
当初予算額		15,669,000 円			目的	市民の健康づくりを支援するため、地域医療体制と医療機関の施設整備の充実を図る。																																																																																																		
予算現額		15,409,000 円																																																																																																						
決算額 A		14,170,976 円																																																																																																						
財源内訳	国・県支出金	国10/10 県3/4	1,205,000 円																																																																																																					
	地方債		0 円																																																																																																					
	その他	基金	1,600,000 円																																																																																																					
	一般財源		11,365,976 円																																																																																																					
人件費コスト B		1.4人役	9,794,400 円							総事業費 A+B		23,965,376 円																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【在宅当番医制事業】</td> <td>3,843,510円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>3,843,510円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">市民の休日及び夜間の診療体制を確保するため、一般社団法人安来市医師会に休日（日曜日及び祝日）の在宅当番医制事業を委託した。</td> </tr> <tr> <td>【病院群輪番制運営事業負担金】</td> <td>2,485,170円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,485,170円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">松江圏の二次救急医療機関の運営費と設備整備費を、松江圏救急医療対策協議会を通じて負担することによって、松江圏の二次救急医療体制を整備し、市民の安心・安全の確保を図った。</td> </tr> <tr> <td>【地域医療教育推進事業】</td> <td>737,371円</td> <td>737,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>371円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">将来の医療従事者を目指す児童・生徒の増加を目的とし、市内の小中学生を対象として医師、看護師等による講演や医療に関する図書購入等を通じ医療職を身近に感じる機会とした。</td> </tr> <tr> <td>【医師・看護師等確保対策事業】</td> <td>4,479,600円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>4,479,600円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生に奨学金を貸与した。令和元年度より薬学生を奨学金貸与事業の対象として追加し、さらに充実を図っている。 看護学生 9名 薬学生 2名</td> </tr> <tr> <td>【保健衛生総務事業】</td> <td>1,964,325円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,600,000円</td> <td>364,325円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">島根県より権限移譲を受けた看護師等の免許の申請等の事務を行うことにより、住民サービスの向上を図った。 また、伯太保健センターの屋根改修工事(雨漏り修繕)及びトップライト改修工事(遮熱フィルム貼り等)を行い安全かつ清潔な場所の提供をおこなった。</td> </tr> <tr> <td>【地域医療を守る普及啓発事業】</td> <td>37,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>37,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">地域医療を守る交流会は新型コロナウイルス感染症のために中止となったが、安来市出身医師との連携を継続するため、市報等発行物を毎月送付した。</td> </tr> <tr> <td>【訪問診療支援事業】</td> <td>624,000円</td> <td>468,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>156,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">訪問診療計画に基づく条件不利地域（移動時間が30分以上）への訪問診療を行う病院・診療所に対してその運営費の一部を補助し在宅療養生活の質の向上を図った。 ●実績 4医療機関 156件</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【在宅当番医制事業】	3,843,510円	0円	0円	0円	3,843,510円	市民の休日及び夜間の診療体制を確保するため、一般社団法人安来市医師会に休日（日曜日及び祝日）の在宅当番医制事業を委託した。						【病院群輪番制運営事業負担金】	2,485,170円	0円	0円	0円	2,485,170円	松江圏の二次救急医療機関の運営費と設備整備費を、松江圏救急医療対策協議会を通じて負担することによって、松江圏の二次救急医療体制を整備し、市民の安心・安全の確保を図った。						【地域医療教育推進事業】	737,371円	737,000円	0円	0円	371円	将来の医療従事者を目指す児童・生徒の増加を目的とし、市内の小中学生を対象として医師、看護師等による講演や医療に関する図書購入等を通じ医療職を身近に感じる機会とした。						【医師・看護師等確保対策事業】	4,479,600円	0円	0円	0円	4,479,600円	医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生に奨学金を貸与した。令和元年度より薬学生を奨学金貸与事業の対象として追加し、さらに充実を図っている。 看護学生 9名 薬学生 2名						【保健衛生総務事業】	1,964,325円	0円	0円	1,600,000円	364,325円	島根県より権限移譲を受けた看護師等の免許の申請等の事務を行うことにより、住民サービスの向上を図った。 また、伯太保健センターの屋根改修工事(雨漏り修繕)及びトップライト改修工事(遮熱フィルム貼り等)を行い安全かつ清潔な場所の提供をおこなった。						【地域医療を守る普及啓発事業】	37,000円	0円	0円	0円	37,000円	地域医療を守る交流会は新型コロナウイルス感染症のために中止となったが、安来市出身医師との連携を継続するため、市報等発行物を毎月送付した。						【訪問診療支援事業】	624,000円	468,000円	0円	0円	156,000円	訪問診療計画に基づく条件不利地域（移動時間が30分以上）への訪問診療を行う病院・診療所に対してその運営費の一部を補助し在宅療養生活の質の向上を図った。 ●実績 4医療機関 156件										
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																																																																																														
【在宅当番医制事業】	3,843,510円	0円	0円	0円	3,843,510円																																																																																																			
市民の休日及び夜間の診療体制を確保するため、一般社団法人安来市医師会に休日（日曜日及び祝日）の在宅当番医制事業を委託した。																																																																																																								
【病院群輪番制運営事業負担金】	2,485,170円	0円	0円	0円	2,485,170円																																																																																																			
松江圏の二次救急医療機関の運営費と設備整備費を、松江圏救急医療対策協議会を通じて負担することによって、松江圏の二次救急医療体制を整備し、市民の安心・安全の確保を図った。																																																																																																								
【地域医療教育推進事業】	737,371円	737,000円	0円	0円	371円																																																																																																			
将来の医療従事者を目指す児童・生徒の増加を目的とし、市内の小中学生を対象として医師、看護師等による講演や医療に関する図書購入等を通じ医療職を身近に感じる機会とした。																																																																																																								
【医師・看護師等確保対策事業】	4,479,600円	0円	0円	0円	4,479,600円																																																																																																			
医師・薬剤師及び看護職の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生に奨学金を貸与した。令和元年度より薬学生を奨学金貸与事業の対象として追加し、さらに充実を図っている。 看護学生 9名 薬学生 2名																																																																																																								
【保健衛生総務事業】	1,964,325円	0円	0円	1,600,000円	364,325円																																																																																																			
島根県より権限移譲を受けた看護師等の免許の申請等の事務を行うことにより、住民サービスの向上を図った。 また、伯太保健センターの屋根改修工事(雨漏り修繕)及びトップライト改修工事(遮熱フィルム貼り等)を行い安全かつ清潔な場所の提供をおこなった。																																																																																																								
【地域医療を守る普及啓発事業】	37,000円	0円	0円	0円	37,000円																																																																																																			
地域医療を守る交流会は新型コロナウイルス感染症のために中止となったが、安来市出身医師との連携を継続するため、市報等発行物を毎月送付した。																																																																																																								
【訪問診療支援事業】	624,000円	468,000円	0円	0円	156,000円																																																																																																			
訪問診療計画に基づく条件不利地域（移動時間が30分以上）への訪問診療を行う病院・診療所に対してその運営費の一部を補助し在宅療養生活の質の向上を図った。 ●実績 4医療機関 156件																																																																																																								

					決算事項別明細書		P81																																																						
大事業	10	保健・医療・福祉		担当部署		いきいき健康課																																																							
中事業	10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計																																																						
小事業	15	健康増進事業費			款	04	衛生費																																																						
事業開始年度		令和4年度			項	01	保健衛生費																																																						
事業進捗度		-			目	01	保健衛生総務費																																																						
当初予算額		32,044,000 円		目的	健康増進法に基づき、安来市健康推進会議を核として総合的保健活動を推進することにより、生活習慣病予防及び介護の予防に努める。																																																								
予算現額		28,523,000 円																																																											
決算額 A		26,888,895 円																																																											
財源内訳	国・県支出金		740,650 円																																																										
		県2/3																																																											
	地方債		12,000,000 円																																																										
		過疎																																																											
その他		1,444,640 円																																																											
	諸収入外																																																												
一般財源		12,703,605 円																																																											
人件費コスト B		6.9人役	48,272,400 円	総事業費 A+B		75,161,295 円																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【健康増進事業】</td> <td>1,970,237円</td> <td>740,650円</td> <td>0円</td> <td>128,702円</td> <td>1,100,885円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">健康教育、健康相談、訪問指導等により総合的保健活動を実施し、「健康やすぎ21」の推進を図った。地域ぐるみの健康づくりを推進するため、交流センター単位にある地区健康推進会議の活動を支援した。生活保護受給者の特定健診及び特定保健指導について周知し受診勧奨を行った。受診率向上と重症化予防のため、担当ケースワーカーや医療機関等と連携しながら取り組んだ。</td> </tr> <tr> <td>【食育推進事業】</td> <td>369,795円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>369,795円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">関係機関・団体との連携を充実し、食育推進計画の推進を図った。食と歯の健康づくりとして食と歯のフェスティバルを、令和4年10月16日(日)に安来市総合文化ホールアルテピアにて開催した。今回は「かかりつけ歯科医」をテーマに、かかりつけ歯科医を持つことの大切さやフレイル予防等について啓発を行った。食育推進の担い手である食生活改善推進員とともに地域における健康づくり活動を推進した。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">食と歯のフェスティバル（講演会）の様子</td> </tr> <tr> <td>【がん対策事業】</td> <td>24,548,863円</td> <td>0円</td> <td>12,000,000円</td> <td>1,315,938円</td> <td>11,232,925円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">がん検診の受診率を向上させるため地区での啓発活動を行い、がんを早期発見し早期治療につなげた。特に集団がん検診の休日検診、医療機関での個別検診のPRを行った。また、乳がん集団検診・胃がん集団検診についてはインターネット予約の利用促進をし若年層の受診者の拡大を図った。</td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【健康増進事業】	1,970,237円	740,650円	0円	128,702円	1,100,885円	健康教育、健康相談、訪問指導等により総合的保健活動を実施し、「健康やすぎ21」の推進を図った。地域ぐるみの健康づくりを推進するため、交流センター単位にある地区健康推進会議の活動を支援した。生活保護受給者の特定健診及び特定保健指導について周知し受診勧奨を行った。受診率向上と重症化予防のため、担当ケースワーカーや医療機関等と連携しながら取り組んだ。						【食育推進事業】	369,795円	0円	0円	0円	369,795円	関係機関・団体との連携を充実し、食育推進計画の推進を図った。食と歯の健康づくりとして食と歯のフェスティバルを、令和4年10月16日(日)に安来市総合文化ホールアルテピアにて開催した。今回は「かかりつけ歯科医」をテーマに、かかりつけ歯科医を持つことの大切さやフレイル予防等について啓発を行った。食育推進の担い手である食生活改善推進員とともに地域における健康づくり活動を推進した。												食と歯のフェスティバル（講演会）の様子						【がん対策事業】	24,548,863円	0円	12,000,000円	1,315,938円	11,232,925円	がん検診の受診率を向上させるため地区での啓発活動を行い、がんを早期発見し早期治療につなげた。特に集団がん検診の休日検診、医療機関での個別検診のPRを行った。また、乳がん集団検診・胃がん集団検診についてはインターネット予約の利用促進をし若年層の受診者の拡大を図った。					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
【健康増進事業】	1,970,237円	740,650円	0円	128,702円	1,100,885円																																																								
健康教育、健康相談、訪問指導等により総合的保健活動を実施し、「健康やすぎ21」の推進を図った。地域ぐるみの健康づくりを推進するため、交流センター単位にある地区健康推進会議の活動を支援した。生活保護受給者の特定健診及び特定保健指導について周知し受診勧奨を行った。受診率向上と重症化予防のため、担当ケースワーカーや医療機関等と連携しながら取り組んだ。																																																													
【食育推進事業】	369,795円	0円	0円	0円	369,795円																																																								
関係機関・団体との連携を充実し、食育推進計画の推進を図った。食と歯の健康づくりとして食と歯のフェスティバルを、令和4年10月16日(日)に安来市総合文化ホールアルテピアにて開催した。今回は「かかりつけ歯科医」をテーマに、かかりつけ歯科医を持つことの大切さやフレイル予防等について啓発を行った。食育推進の担い手である食生活改善推進員とともに地域における健康づくり活動を推進した。																																																													
																																																													
食と歯のフェスティバル（講演会）の様子																																																													
【がん対策事業】	24,548,863円	0円	12,000,000円	1,315,938円	11,232,925円																																																								
がん検診の受診率を向上させるため地区での啓発活動を行い、がんを早期発見し早期治療につなげた。特に集団がん検診の休日検診、医療機関での個別検診のPRを行った。また、乳がん集団検診・胃がん集団検診についてはインターネット予約の利用促進をし若年層の受診者の拡大を図った。																																																													

					決算事項別明細書		P81													
大事業	10	保健・医療・福祉			担当部署		子ども未来課													
中事業	10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01 一般会計													
小事業	20	母子保健事業費				款	04 衛生費													
事業開始年度		令和4年度				項	01 保健衛生費													
事業進捗度		-				目	01 保健衛生総務費													
当初予算額		54,888,000 円			目的	母性と子どもの健康の保持及び増進を図るため、子どもをすこやかに生み・育てる環境を整備する。														
予算現額		56,829,000 円																		
決算額 A		45,614,049 円																		
財源内訳	国・県支出金		国	7,787,831 円																
	地方債			0 円																
	その他		基金外	19,707,022 円																
	一般財源			18,119,196 円																
人件費コスト B		3.5人役	24,486,000 円	総事業費 A+B				70,100,049 円												
【事業名称】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,154,852円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>15,500,000円</td> <td>1,654,852円</td> </tr> </tbody> </table>								事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	17,154,852円	0円	0円	15,500,000円	1,654,852円			
事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
17,154,852円	0円	0円	15,500,000円	1,654,852円																
【母子手帳交付及び妊婦・乳児一般健康診査事業】 妊娠の届けをした妊婦への母子健康手帳の交付と妊婦への各種健診受診促進を図り、安心して安全な出産が迎えられるよう支援を行った。 健康診査は、妊婦（14回）・乳児（1か月児）用の健康診査受診票を交付し、妊娠中及び出生後1か月の疾病・異常の早期発見及び経済的負担軽減を図った。 ●妊婦健診（医療機関委託） 1回目 153人 2回目 150人 3回目 137人 4回目 146人 5回目 141人 6回目 144人 7回目 146人 8回目 147人 9回目 148人 10回目 150人 11回目 124人 12回目 126人 13回目 97人 14回目 59人 ●1か月児健診（医療機関委託） 140人																				
【家庭訪問事業】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,457,686円</td> <td>556,000円</td> <td>0円</td> <td>4,611円</td> <td>1,897,075円</td> </tr> </tbody> </table> 育児不安の大きい出産前後の妊産婦・乳児や養育困難家庭で養育支援の必要性がある保護者に対し、家庭訪問による子育て相談・育児指導等を行い、虐待予防及び育児不安の解消を図った。 ●妊婦訪問 延1件 ●産婦訪問 延156件 ●新生児・未熟児・乳児等訪問 延168件								事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	2,457,686円	556,000円	0円	4,611円	1,897,075円			
事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
2,457,686円	556,000円	0円	4,611円	1,897,075円																
【乳幼児健診事業】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,923,941円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>3,603,703円</td> <td>2,320,238円</td> </tr> </tbody> </table> 4か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児に対して健康診査を実施し、疾病・異常の早期発見・早期対応を行うとともに、適切な生活習慣づくり、虐待予防及び育児不安解消のための助言、情報の提供を行った。 3歳児健診において視能訓練士の派遣を受け、検査機器を用いた眼科検査を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげた。 ●4か月児健診 157人 受診率95.2% ●9か月児健診 177人 受診率98.9% ●1歳6か月児健診 198人 受診率95.7% ●3歳児健診 221人 受診率98.7%								事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	5,923,941円	0円	0円	3,603,703円	2,320,238円			
事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
5,923,941円	0円	0円	3,603,703円	2,320,238円																
【発達相談事業】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>417,760円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>417,760円</td> </tr> </tbody> </table> 乳幼児健診等で発見された精神発達や運動発達に支援を必要とする乳幼児や、発達に不安を持つ家族及び関係機関からの相談に対して、専門スタッフによる二次健康診査や発達相談等の支援を実施した。 ●発達相談事業（発達クリニック）年12回 受診者実人数 16人 延人数 25人								事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	417,760円	0円	0円	0円	417,760円			
事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
417,760円	0円	0円	0円	417,760円																
【各種健康教室事業】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>447,101円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>447,101円</td> </tr> </tbody> </table> 妊娠期及び乳幼児期からのより良い生活習慣を身につけるとともに、育児不安の解消や仲間づくりの場として、マタニティ教室、離乳食教室を開催した。 また、乳児訪問・乳幼児健診等の相談活動を通じ発見されたリスク家庭や、第1子を子育てしている母親に対し、臨床心理士、保健師、保育士による、はじめての子育て教室を開催し、児童虐待予防の観点からも、子育ての仲間づくりや育児不安・ストレスの解消を図った。 ●離乳食教室 ごっくん教室（12回）51組 もぐもぐ教室（5回）28組 かみかみ教室（6回）28組 ●マタニティ教室（年4回） 妊婦延24人 夫延22人 ●はじめての子育て講座（1クール4回とし4クール開催） 30組								事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	447,101円	0円	0円	0円	447,101円			
事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																
447,101円	0円	0円	0円	447,101円																

【歯科保健事業】	372,558円	0円	0円	0円	372,558円
<p>小児期からのむし歯予防のため、フッ化物洗口や歯科教室を実施し、関係機関と連携しながら家族・地域・幼稚園保育施設・小学校への普及啓発を図った。</p> <p>むし歯や歯周病にかかりやすくなる妊婦を対象に、安心安全な妊娠出産と出産後の乳児のむし歯予防につながるため、歯科検診（歯科検診、歯科相談）を実施した。</p> <p>口腔衛生展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、歯科相談・啓発活動を中心とした内容で実施した。（年1回）</p> <p>●妊婦歯科検診（年4回） 受診者 83人</p>					
【思春期保健事業】	120,000円	0円	0円	0円	120,000円
<p>思春期の健康づくりと望まない妊娠の防止、児童虐待防止を視点に、将来のよりよい妊娠・出産・子育てのため、関係機関との協議の場をもって連携を図り、思春期の生と性を育む健康教育を進めた。</p> <p>生徒対象研修を実施し、思春期保健連絡会、関係者研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。</p>					
【不妊治療費助成事業】	3,990,300円	1,527,000円	0円	0円	2,463,300円
<p>少子化対策、子育て支援の一環として、不妊治療を受けている夫婦に対し、治療に要する費用を助成し、経済的な負担軽減を図った。</p> <p>一般不妊治療費用助成として、医療保険の適用となる不妊治療及び検査、人工授精に要した費用の一部を助成し、生殖補助医療費用助成として、医療保険の適用となる生殖補助医療（体外受精・顕微授精）に要した費用の一部を助成した。</p> <p>また、特定不妊治療について、令和4年度からの保険適用開始に伴う経過措置として、医療保険が適用されず治療費が高額である体外受精及び顕微授精に要した費用に対して、島根県特定不妊治療費助成事業による一部助成に上乘せして助成した。</p> <p>●一般不妊治療費助成 申請延件数33件 実人数30人 決算額：1,154,200円</p> <p>●生殖補助医療費助成 申請延件数35件 実人数23人 決算額：1,729,600円</p> <p>●特定不妊治療費助成（経過措置） 申請延件数16件 実人数12人 決算額：1,106,500円</p>					
【未熟児養育医療給付事業】	3,752,342円	2,202,831円	0円	578,973円	970,538円
<p>身体の発達未熟のまま生まれ、入院を必要とする乳児が入院治療を受ける場合に、その費用の一部を給付することで未熟児の健全な育成を図った。</p>					
【風しん等ワクチン接種費用助成事業】	65,691円	0円	0円	0円	65,691円
<p>妊娠を希望する女性及びその配偶者にワクチン接種費用の助成を行い、風しん等の発症防止と先天性風しん症候群の発生を予防することで、安心して妊娠出産できる環境づくりを図った。</p> <p>●申請延件数 17件</p>					
【新生児聴覚検査費用助成事業】	358,000円	0円	0円	0円	358,000円
<p>聴覚障がい早期発見・早期支援のため、新生児期の聴覚スクリーニング検査の費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図り検査の受診促進を図った。</p> <p>●申請延件数 95件</p>					
【母子保健推進事業】	7,358,608円	2,398,000円	0円	19,735円	4,940,873円
<p>安来市母子健康包括支援センター（ぴっこりー）において思春期、妊娠期から出産、子育て期にわたり切れ目のない支援を行った。また、出産後の母子に対して心身のケアや育児支援を行い、産後の心身の回復や産後うつ予防を図り、産後も安心して子育てができるよう産婦健診、産後ケア事業（訪問型・通所型）を実施した。</p>					
【産後ケア事業】	459,000円	24,000円	0円	0円	435,000円
<p>産後4か月までの母子を対象に、母子の身体的ケア、母親の心理的ケア及び相談、授乳・育児相談を行い、産後の育児支援をサポートしたり、育児不安の軽減を図った。</p> <p>●産後ケア事業 訪問型：2件 通所型：1件</p>					
【産婦健診事業】	2,736,210円	1,080,000円	0円	0円	1,656,210円
<p>産後2週間、産後1か月用の健康診査受診票を交付し、産後の健康状態の把握や産後うつ等のこころの健康チェックを行い、医療機関と連携しながら早期支援を行った。</p> <p>●産婦健診（医療機関委託）</p> <p>第1回（産後2週間）：142件 第2回（産後1か月）146件</p>					

大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署	いきいき健康課				
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	25	自死対策事業費		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費			
事業進捗度		—		目	01 保健衛生総務費			
当初予算額		244,000 円	目的	地域の自死対策における基盤整備及び地域・関係機関等と連携し対策の推進を図る。				
予算現額		244,000 円						
決算額 A		148,624 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	0 円						
	一般財源	148,624 円						
人件費コスト B		0.3人役 2,098,800 円				総事業費 A+B	2,247,424 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【自死対策事業】 148,624円 0円 0円 0円 148,624円

安来市自死対策計画（令和元年度～令和5年度）に基づき、自死対策会議および自死対策庁内連絡会議をもとに自死対策の推進を図った。

●心いきいきキャンペーンとして、令和4年9月10日（土）～16日（金）の期間、安来市立図書館等に啓発コーナーを設置。

●市民向け研修会として、令和5年3月4日（土）に安来市総合文化ホールアルテピアにて第13回しまね自死遺族フォーラムin安来を開催し、約100名の参加があった。



心いきいきキャンペーン

決算事項別明細書						P81															
大事業	10	保健・医療・福祉		担当部署	子ども未来課																
中事業	10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01 一般会計															
小事業	27	出産・子育て応援交付金事業費			款	04 衛生費															
事業開始年度		令和4年度			項	01 保健衛生費															
事業進捗度		-			目	01 保健衛生総務費															
当初予算額		0 円		目的	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と、妊娠届出時及び出産届出後にそれぞれ5万円を給付する経済的支援を一体的に実施し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整える。																
予算現額		28,800,000 円																			
決算額 A		18,900,400 円																			
財源内訳	国・県支出金	国2/3 県1/6	15,748,000 円																		
	地方債		0 円																		
	その他		0 円																		
	一般財源		3,152,400 円																		
人件費コスト B		0.2人役	1,399,200 円				総事業費 A+B	20,299,600 円													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【出産・子育て応援交付金事業】</td> <td>18,900,400円</td> <td>15,748,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>3,152,400円</td> </tr> </tbody> </table>							【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【出産・子育て応援交付金事業】	18,900,400円	15,748,000円	0円	0円	3,152,400円			
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債				その他	一般財源													
【出産・子育て応援交付金事業】	18,900,400円	15,748,000円	0円	0円	3,152,400円																
<p>全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように、令和4年4月1日以降に妊娠届出や出生届出を行った妊婦及び出生した子どもを養育する者に対し、出産育児関連用品の購入費や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援を実施するため、出産・子育て応援給付金を給付した。</p> <p>●支給対象者・支給額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産応援給付金・・・妊婦（1人当たり50千円） ・子育て応援給付金・・・出生した子どもを養育する者（新生児1人当たり50千円） <p>●支給方法</p> <p>口座振込による現金給付</p> <p>●支給期間</p> <p>令和5年2月から3月末</p> <p>※令和4年4月～令和5年1月までに妊娠届出や出生届出を行った支給対象者には遡及して支給した。</p> <p>●支給者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産応援給付金・・・246人 ・子育て応援給付金・・・131人 合計：377人 <p>●事業費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役務費（郵券料）51千円 ・扶助費（給付金50千円×377人）18,850千円 合計：18,901千円 <p>※翌年度繰越額 6,467,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 17,000円 ・乳児家庭全戸訪問委託料 200,000円 ・出産・子育て応援交付金 6,250,000円 																					

					決算事項別明細書		P81																																																																			
大事業	10	保健・医療・福祉			担当部署		いきいき健康課																																																																			
中事業	10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01 一般会計																																																																			
小事業	30	感染症予防事業費				款	04 衛生費																																																																			
事業開始年度		令和4年度				項	01 保健衛生費																																																																			
事業進捗度		-				目	02 予防費																																																																			
当初予算額		174,233,000 円			目的	高齢者のインフルエンザ、肺炎の発症予防、重症化予防、蔓延予防及び新型コロナウイルス感染症対策の推進を図る。																																																																				
予算現額		356,413,000 円																																																																								
決算額 A		302,310,835 円																																																																								
財源内訳	国・県支出金		国	213,288,163 円																																																																						
	地方債			0 円																																																																						
	その他		基金外	22,142,341 円																																																																						
	一般財源			66,880,331 円																																																																						
人件費コスト B		4.7人役	32,881,200 円	総事業費 A+B		335,192,035 円																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業】</td> <td>22,565,267円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>22,000,000円</td> <td>565,267円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">主として65歳以上の高齢者がインフルエンザに罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づきインフルエンザ予防接種事業を実施した。</td> </tr> <tr> <td>【高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業】</td> <td>2,661,259円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,661,259円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">平成26年10月1日から予防接種法に基づく定期接種として実施。 令和4年度は、継続して65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する者を対象に、肺炎の発症予防、重症化予防のため実施した（任意接種で過去に接種した者及び平成26～30年度の間に既に定期接種を受けた者は除く）。</td> </tr> <tr> <td>【風しん追加対策事業】</td> <td>3,576,599円</td> <td>2,083,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,493,599円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">風しんの感染拡大防止のため、国の風しんに対する追加対策により、特に抗体保有率が低いS37.4.2～S54.4.1生まれの男性に対し、無料クーポン券を送付し、風しん抗体検査を実施した。抗体価の低い者には予防接種法に基づく定期接種として風しん予防接種を実施した。令和6年度末までの時限措置予定。</td> </tr> <tr> <td>【新型コロナウイルスワクチン接種事業】</td> <td>262,607,710円</td> <td>201,205,163円</td> <td>0円</td> <td>142,341円</td> <td>61,260,206円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">予防接種法に基づき、順次対象者への新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。接種医療機関は、特設会場を含め18か所。接種費用については、約51,400回分の支払い（加算分を含む）を行った。その他、ワクチン接種に係る啓発及び新型コロナウイルス感染症について予防啓発を図った。</td> </tr> <tr> <td>【医療機関等物価高騰対策緊急支援事業】</td> <td>10,900,000円</td> <td>10,000,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">長期化するコロナ禍において物価高騰等の影響を受けている医療機関等が安心・安全な医療、看護等を提供でき、患者が安心して身近な医療機関等で治療を受けられるようにするため事業所を支援した。</td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業】	22,565,267円	0円	0円	22,000,000円	565,267円	主として65歳以上の高齢者がインフルエンザに罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づきインフルエンザ予防接種事業を実施した。						【高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業】	2,661,259円	0円	0円	0円	2,661,259円	平成26年10月1日から予防接種法に基づく定期接種として実施。 令和4年度は、継続して65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する者を対象に、肺炎の発症予防、重症化予防のため実施した（任意接種で過去に接種した者及び平成26～30年度の間に既に定期接種を受けた者は除く）。						【風しん追加対策事業】	3,576,599円	2,083,000円	0円	0円	1,493,599円	風しんの感染拡大防止のため、国の風しんに対する追加対策により、特に抗体保有率が低いS37.4.2～S54.4.1生まれの男性に対し、無料クーポン券を送付し、風しん抗体検査を実施した。抗体価の低い者には予防接種法に基づく定期接種として風しん予防接種を実施した。令和6年度末までの時限措置予定。						【新型コロナウイルスワクチン接種事業】	262,607,710円	201,205,163円	0円	142,341円	61,260,206円	予防接種法に基づき、順次対象者への新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。接種医療機関は、特設会場を含め18か所。接種費用については、約51,400回分の支払い（加算分を含む）を行った。その他、ワクチン接種に係る啓発及び新型コロナウイルス感染症について予防啓発を図った。						【医療機関等物価高騰対策緊急支援事業】	10,900,000円	10,000,000円	0円	0円	900,000円	長期化するコロナ禍において物価高騰等の影響を受けている医療機関等が安心・安全な医療、看護等を提供でき、患者が安心して身近な医療機関等で治療を受けられるようにするため事業所を支援した。						
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他		一般財源																																																																				
【高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業】	22,565,267円	0円	0円	22,000,000円	565,267円																																																																					
主として65歳以上の高齢者がインフルエンザに罹患し重症化することを防ぐため、感染症予防法及び予防接種法等に基づきインフルエンザ予防接種事業を実施した。																																																																										
【高齢者肺炎球菌感染症予防接種事業】	2,661,259円	0円	0円	0円	2,661,259円																																																																					
平成26年10月1日から予防接種法に基づく定期接種として実施。 令和4年度は、継続して65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する者を対象に、肺炎の発症予防、重症化予防のため実施した（任意接種で過去に接種した者及び平成26～30年度の間に既に定期接種を受けた者は除く）。																																																																										
【風しん追加対策事業】	3,576,599円	2,083,000円	0円	0円	1,493,599円																																																																					
風しんの感染拡大防止のため、国の風しんに対する追加対策により、特に抗体保有率が低いS37.4.2～S54.4.1生まれの男性に対し、無料クーポン券を送付し、風しん抗体検査を実施した。抗体価の低い者には予防接種法に基づく定期接種として風しん予防接種を実施した。令和6年度末までの時限措置予定。																																																																										
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】	262,607,710円	201,205,163円	0円	142,341円	61,260,206円																																																																					
予防接種法に基づき、順次対象者への新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。接種医療機関は、特設会場を含め18か所。接種費用については、約51,400回分の支払い（加算分を含む）を行った。その他、ワクチン接種に係る啓発及び新型コロナウイルス感染症について予防啓発を図った。																																																																										
【医療機関等物価高騰対策緊急支援事業】	10,900,000円	10,000,000円	0円	0円	900,000円																																																																					
長期化するコロナ禍において物価高騰等の影響を受けている医療機関等が安心・安全な医療、看護等を提供でき、患者が安心して身近な医療機関等で治療を受けられるようにするため事業所を支援した。																																																																										
※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業																																																																										

						決算事項別明細書		P81																		
大事業	10	保健・医療・福祉			担当部署		環境政策課																			
中事業	10	市民の健康づくりの推進			予算科目	会計	01	一般会計																		
小事業	35	狂犬病予防費				款	04	衛生費																		
事業開始年度		令和4年度				項	01	保健衛生費																		
事業進捗度		-				目	02	予防費																		
当初予算額		838,000 円			目的	狂犬病の発生を未然に防止するとともに、動物愛護の啓発・飼育マナーの向上により快適な生活環境の充実を図る。																				
予算現額		838,000 円																								
決算額 A		557,836 円																								
財源内訳	国・県支出金		0 円																							
	地方債		0 円																							
	その他	手数料	557,836 円																							
	一般財源		0 円																							
人件費コスト B		0.7人役	4,897,200 円							総事業費 A+B		5,455,036 円														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【狂犬病予防事業】</td> <td>557,836円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>557,836円</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table> <p>●窓口及び市内動物病院で犬の登録鑑札、注射済票を交付するとともに、市内54箇所集合注射を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集合注射実施期間 令和4年4月19日～令和4年7月3日（補足注射含む） ○犬の登録及び狂犬病注射済頭数 <ul style="list-style-type: none"> ・登録頭数 1,702頭（令和5年3月31日現在） ・注射済頭数 1,357頭（令和4年度接種分） ・注射済接種率 79.73% <p>●適正飼育の向上を目的にホームページや市報などで啓発を実施した。</p> <p>●猫避け機（超音波発生装置）の貸出しを行い、野良猫等による被害対策を講じた。</p>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【狂犬病予防事業】	557,836円	0円	0円	557,836円	0円					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																
【狂犬病予防事業】	557,836円	0円	0円	557,836円	0円																					

					決算事項別明細書		P81																																																										
大事業	10	保健・医療・福祉		担当部署		子ども未来課																																																											
中事業	10	市民の健康づくりの推進		予算科目	会計	01	一般会計																																																										
小事業	40	小児予防接種事業費			款	04	衛生費																																																										
事業開始年度		令和4年度			項	01	保健衛生費																																																										
事業進捗度		-			目	02	予防費																																																										
当初予算額		108,130,000 円		目的	乳幼児、学童の疾病の流行防止に小児予防接種事業は効果をもたらし、感染症による患者の発生や死亡者の撲滅を目的としている。																																																												
予算現額		73,229,000 円																																																															
決算額 A		68,784,999 円																																																															
財源内訳	国・県支出金		0 円																																																														
	地方債		0 円																																																														
	その他	基金	60,900,000 円																																																														
	一般財源		7,884,999 円																																																														
人件費コスト B		0.5人役	3,498,000 円					総事業費 A+B		72,282,999 円																																																							
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【定期予防接種（A類疾病）】 64,894,479円 0円 0円 60,900,000円 3,994,479円 予防接種法に基づき、乳幼児、学童が感染する恐れのある疾病の発生、蔓延の予防及び死亡者の撲滅を図った。 BCGを集団接種で実施し、体調不良等により集団接種の機会を逃した1歳未満の児童を対象に個別接種ができるよう安来市立病院に委託した。その他のワクチンについては、医療機関での個別接種により実施した。 日本脳炎予防接種について、平成17年の積極的接種勧奨の差し控えがあったために接種できなかった児童に対し、特例措置で対応した。 HPVワクチン接種について、平成25年6月より差し控えていた積極的接種勧奨を、令和4年度より再開した。また、同ワクチンの接種機会を逃した者(平成9年度～平成17年度生まれの女子)を対象に、キャッチアップ接種を行った(令和6年度まで実施予定)。 ハイリスク児の個別接種について、松江市立病院、松江赤十字病院、島根大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院に委託し、年間を通じて体調の良い時期に接種できるよう配慮した。 長期里帰りによる市外医療機関への委託も実施し、早期からの予防接種実施に配慮した。																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>対象</th> <th>実施時期</th> <th>接種件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロタウイルス</td> <td>1価ワクチン：6週0日～24週0日 5価ワクチン：6週0日～32週0日</td> <td>通年</td> <td>349件</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>2か月～5歳未満</td> <td>通年</td> <td>658件</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td>2か月～5歳未満</td> <td>通年</td> <td>656件</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td>2か月～1歳未満</td> <td>通年</td> <td>490件</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>5か月～1歳未満</td> <td>通年</td> <td>165件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日本脳炎</td> <td>1期：6か月～7歳6か月未満</td> <td>通年</td> <td>772件(特例措置接種者含む)</td> </tr> <tr> <td>2期：9歳～13歳未満</td> <td>通年</td> <td>299件(特例措置接種者含む)</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>3か月～7歳6か月未満</td> <td>通年</td> <td>681件</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td>3か月～7歳6か月未満</td> <td>通年</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">麻しん風しん混合 麻しん、風しん</td> <td>1期：1歳～2歳未満</td> <td>通年</td> <td>174件</td> </tr> <tr> <td>2期：幼稚園、保育所等の年長児</td> <td>通年</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>1歳～3歳未満</td> <td>通年</td> <td>333件</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>11歳～13歳未満</td> <td>通年</td> <td>182件</td> </tr> <tr> <td>HPV</td> <td>①小学6年生～高校1年生の年齢に該当する女子 ②平成9年度～平成17年度生まれの女子(キャッチアップ接種)</td> <td>通年</td> <td>421件</td> </tr> </tbody> </table>								種別	対象	実施時期	接種件数	ロタウイルス	1価ワクチン：6週0日～24週0日 5価ワクチン：6週0日～32週0日	通年	349件	ヒブ	2か月～5歳未満	通年	658件	小児用肺炎球菌	2か月～5歳未満	通年	656件	B型肝炎	2か月～1歳未満	通年	490件	BCG	5か月～1歳未満	通年	165件	日本脳炎	1期：6か月～7歳6か月未満	通年	772件(特例措置接種者含む)	2期：9歳～13歳未満	通年	299件(特例措置接種者含む)	四種混合	3か月～7歳6か月未満	通年	681件	不活化ポリオ	3か月～7歳6か月未満	通年	0件	麻しん風しん混合 麻しん、風しん	1期：1歳～2歳未満	通年	174件	2期：幼稚園、保育所等の年長児	通年	252件	水痘	1歳～3歳未満	通年	333件	二種混合	11歳～13歳未満	通年	182件	HPV	①小学6年生～高校1年生の年齢に該当する女子 ②平成9年度～平成17年度生まれの女子(キャッチアップ接種)	通年	421件
種別	対象	実施時期	接種件数																																																														
ロタウイルス	1価ワクチン：6週0日～24週0日 5価ワクチン：6週0日～32週0日	通年	349件																																																														
ヒブ	2か月～5歳未満	通年	658件																																																														
小児用肺炎球菌	2か月～5歳未満	通年	656件																																																														
B型肝炎	2か月～1歳未満	通年	490件																																																														
BCG	5か月～1歳未満	通年	165件																																																														
日本脳炎	1期：6か月～7歳6か月未満	通年	772件(特例措置接種者含む)																																																														
	2期：9歳～13歳未満	通年	299件(特例措置接種者含む)																																																														
四種混合	3か月～7歳6か月未満	通年	681件																																																														
不活化ポリオ	3か月～7歳6か月未満	通年	0件																																																														
麻しん風しん混合 麻しん、風しん	1期：1歳～2歳未満	通年	174件																																																														
	2期：幼稚園、保育所等の年長児	通年	252件																																																														
水痘	1歳～3歳未満	通年	333件																																																														
二種混合	11歳～13歳未満	通年	182件																																																														
HPV	①小学6年生～高校1年生の年齢に該当する女子 ②平成9年度～平成17年度生まれの女子(キャッチアップ接種)	通年	421件																																																														
【任意予防接種】 3,890,520円 0円 0円 0円 3,890,520円 子育て支援の充実の一環として、任意接種の中で、特に集団感染の予防に効果的といわれている「おたふくかぜ」の予防接種を対象に、接種費用を公費負担とし、疾病予防及び経済的負担の軽減を図った。																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>助成対象</th> <th>実施時期</th> <th>助成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おたふくかぜ</td> <td>1歳～小学校入学前の子ども</td> <td>通年</td> <td>435件</td> </tr> </tbody> </table>								種別	助成対象	実施時期	助成件数	おたふくかぜ	1歳～小学校入学前の子ども	通年	435件																																																		
種別	助成対象	実施時期	助成件数																																																														
おたふくかぜ	1歳～小学校入学前の子ども	通年	435件																																																														

						決算事項別明細書		P83																																																
大事業	50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課																																																	
中事業	40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計																																																
小事業	10	浄化槽普及促進事業費				款	04	衛生費																																																
事業開始年度		令和4年度				項	01	保健衛生費																																																
事業進捗度		-				目	03	環境衛生費																																																
当初予算額		3,199,000 円			目的	下水道整備が遅れている地域の公共用水域の水質汚濁解消及び水洗化向上を促す。																																																		
予算現額		4,000 円																																																						
決算額 A		4,000 円																																																						
財源内訳	国・県支出金			0 円																																																				
	地方債			0 円																																																				
	その他			0 円																																																				
	一般財源			4,000 円																																																				
人件費コスト B		0.0人役	0 円							総事業費 A+B		4,000 円																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【島根県浄化槽普及センター費】</td> <td>4,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>●島根県浄化槽普及管理センター負担金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【水質保全対策事業費】</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>●水質保全対策事業補助金 令和4年度申請件数</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【浄化槽設置補助事業費】</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>●浄化槽設置事業費補助金 令和4年度申請件数</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【島根県浄化槽普及センター費】	4,000円	0円	0円	0円	4,000円	●島根県浄化槽普及管理センター負担金						【水質保全対策事業費】	0円	0円	0円	0円	0円	●水質保全対策事業補助金 令和4年度申請件数	0件					【浄化槽設置補助事業費】	0円	0円	0円	0円	0円	●浄化槽設置事業費補助金 令和4年度申請件数	0件									
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																																														
【島根県浄化槽普及センター費】	4,000円	0円	0円	0円	4,000円																																																			
●島根県浄化槽普及管理センター負担金																																																								
【水質保全対策事業費】	0円	0円	0円	0円	0円																																																			
●水質保全対策事業補助金 令和4年度申請件数	0件																																																							
【浄化槽設置補助事業費】	0円	0円	0円	0円	0円																																																			
●浄化槽設置事業費補助金 令和4年度申請件数	0件																																																							

						決算事項別明細書		P83																		
大事業	50	都市基盤・生活			担当部署		下水道課																			
中事業	40	上下水道の整備			予算科目	会計	01	一般会計																		
小事業	20	特別会計繰出金費（個別排水処理事業）				款	04	衛生費																		
事業開始年度		令和4年度				項	01	保健衛生費																		
事業進捗度		-				目	03	環境衛生費																		
当初予算額		10,786,000 円			目的	特別会計繰出金費（個別排水処理事業）																				
予算現額		10,632,000 円																								
決算額 A		9,953,000 円																								
財源内訳	国・県支出金			0 円																						
	地方債			0 円																						
	その他			0 円																						
	一般財源			9,953,000 円																						
人件費コスト B		0.0人役	0 円							総事業費 A+B		9,953,000 円														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【特別会計繰出金費（個別排水処理事業）】</td> <td>9,953,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>9,953,000円</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【特別会計繰出金費（個別排水処理事業）】	9,953,000円	0円	0円	0円	9,953,000円					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他						一般財源																
【特別会計繰出金費（個別排水処理事業）】	9,953,000円	0円	0円	0円	9,953,000円																					

決算事項別明細書						P83	
大事業	50	都市基盤・生活	担当部署		下水道課		
中事業	40	上下水道の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	25	特別会計繰出金費（浄化槽市町村整備推進事業）		款	04	衛生費	
事業開始年度		令和4年度		項	01	保健衛生費	
事業進捗度		—		目	03	環境衛生費	
当初予算額		81,222,000 円	目的	特別会計繰出金費（浄化槽市町村整備推進事業）			
予算現額		90,760,000 円					
決算額 A		86,090,000 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	86,090,000 円					
人件費コスト B		0.0人役		0 円	総事業費 A+B	86,090,000 円	
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【特別会計繰出金費（浄化槽市町村整備推進事業）】 86,090,000円 0円 0円 0円 86,090,000円							

決算事項別明細書						P83	
大事業	50	都市基盤・生活	担当部署		水道管理課		
中事業	40	上下水道の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	30	企業会計負担金費（水道事業）		款	04	衛生費	
事業開始年度		令和4年度		項	01	保健衛生費	
事業進捗度		—		目	03	環境衛生費	
当初予算額		184,895,000 円	目的	安来市水道事業に対して経費の一部を負担することにより経営の安定を図る。			
予算現額		184,895,000 円					
決算額 A		184,895,000 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	184,895,000 円					
人件費コスト B		0.0人役		0 円	総事業費 A+B	184,895,000 円	
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【企業会計負担金費（水道事業）】 184,895,000円 0円 0円 0円 184,895,000円 安来市水道事業会計負担金							

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課	
中事業	10	自然環境の保全	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	環境保全費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	03 環境衛生費
当初予算額		11,562,000 円	目的	地球温暖化対策、自然環境の保全、公害対策の実施により周辺環境の保全を図る。	
予算現額		10,375,000 円			
決算額 A		8,925,799 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	基金 600,000 円			
	一般財源	8,325,799 円			
人件費コスト B		1.0人役 6,996,000 円	総事業費 A+B	15,921,799 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【地球温暖化対策事業】	1,160,965円	0円	0円	600,000円	560,965円

安来市地球温暖化対策地域協議会との協働による温暖化対策の啓発や環境イラストコンテスト、教育・保育施設での木育支援活動、小学校の環境保全活動に対する支援等を行った。

- 環境イラストコンテスト 応募総数：1,116点
対象：市内小学校4～6年生、市内中学1～3年生
- 教育・保育施設木育支援活動
対象：安来市内保育所（園）、認定こども園、幼稚園
実施施設：14施設
- 小学校環境学習支援
対象：安来市内小学校
実施施設：6校



教育・保育施設木育支援活動

【水環境保全事業】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,869,546円	0円	0円	0円	1,869,546円

市内10河川15地点における河川水質調査の実施や水環境保全事業を実施する団体への補助金交付により、水質監視及び水環境の保全を行った。

水環境保全事業補助金 交付件数：1件 補助金交付総額：133,000円
補助率：3分の2（上限20万円）

【公害防止対策事業】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,158,790円	0円	0円	0円	1,158,790円

●騒音規制法の規定に基づき、設定地点における自動車騒音測定を実施した。

測定地点 2箇所 (①国道9号線：黒井田町、②県道黒井田安来線：南十神町)

区間	対象戸数	昼夜基準値以下戸数	昼のみ基準値以下戸数	昼夜基準値超過戸数	等価レベル(昼間)	等価レベル(夜間)	調査日
① 6.7km	223	155	4	64	76db	72db	11月21日
② 2.8km	320	320	0	0	67db	56db	11月21日

【その他】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,736,498円	0円	0円	0円	4,736,498円

- 民地における小動物死骸回収を行い、公衆衛生の向上を図った。 160,930円
- 墓地管理講習会参加ほか 76,624円
- 老朽管更新事業負担金（水道会計への負担金）
 - ①平成7年度老朽管更新事業の上積事業費1/4にかかる出資額 1,474,574円
 - ②平成8年度未普及地域配水管整備事業起債額にかかる償還元利合計額 3,024,370円

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課	
中事業	20	再生可能エネルギーの利用	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	再生可能エネルギー推進費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	03 環境衛生費
当初予算額		2,100,000 円	目的	再生可能エネルギーの普及促進を図り、温室効果ガス削減による地球温暖化防止を図る。	
予算現額		11,703,000 円			
決算額 A		11,260,000 円			
財源内訳	国・県支出金	11,260,000 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	0 円			
人件費コスト B		1.2人役 8,395,200 円	総事業費 A+B	19,655,200 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【再生可能エネルギー普及事業】	11,260,000円	11,260,000円	0円	0円	0円
-----------------	-------------	-------------	----	----	----

●再生可能エネルギー普及事業委託料

3回の策定委員会を開催し、「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」を策定した。

●太陽光発電システム等設置費補助金

・太陽光発電システム

補助率：1万円/kW（上限4万円） 交付件数：12件 補助金総額：457,000円

・蓄電池設備

補助率：10万円（設置費用を上限とする） 交付件数：12件 補助金総額：1,200,000円

●太陽熱利用設備設置費補助金

補助率：2分の1（上限30万円） 申請件数：0件

大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		市民課
中事業	20	住環境の整備		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	火葬場費			款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度			項	01 保健衛生費
事業進捗度		-			目	04 火葬場費
当初予算額		30,228,000 円		目的	公衆衛生・公共の福祉の見地から火葬業務の管理、運営を行う。	
予算現額		32,276,000 円				
決算額 A		31,827,232 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	基金外	13,877,620 円			
	一般財源		17,949,612 円			
人件費コスト B		0.7人役	4,897,200 円			

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【火葬場費】	31,827,232円	0円	0円	13,877,620円	17,949,612円
--------	-------------	----	----	-------------	-------------

火葬業務の委託、火葬施設・式場施設及びその附属施設等の管理運営を行った。
 施設の管理においては、定期的な清掃・検査に加え、火葬炉設備の修繕等を行い施設の整備、安全管理に努めた。

- 令和4年度斎場使用状況
 - ・火葬件数 661件〔死体（胎）642体、胎盤肢体等の焼却 3件、改葬 16体〕
 - ・施設使用件数 8件〔式場 0件、霊安室 8件〕

- 火葬炉設備修繕工事 3,575,000円

- 安来市斎場「独松山霊苑」火葬業務委託
 - 委託期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日
 - 委託金額 年額 13,068,000円
総額 39,204,000円
 - 相手方 株式会社 島根東亜建物管理

- 火葬場改修基本計画策定業務委託 3,685,000円
 施設の長寿命化および土砂災害対策を目指した改修基本計画を策定した。

大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署	いきいき健康課	
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	45	診療所費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	05 病院・診療所費
当初予算額		121,000 円	目的	地域の住民が必要とする医療サービスを提供するため、診療所の施設・設備を適切に管理する。	
予算現額		121,000 円			
決算額 A		55,220 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	55,220 円			
人件費コスト B		0.1人役 699,600 円	総事業費 A+B	754,820 円	

【事業名称】 診療所管理事業 事業費 55,220円 国・県支出金 0円 地方債 0円 その他 0円 一般財源 55,220円

中山間地域の医療を提供するため、赤屋、井尻、安田の公設診療所の消防設備の点検を実施した。
診療所のあり方について、状況について整理をし関係機関と情報共有を行い今後について検討を行った。



赤屋診療所



井尻診療所



安田診療所

大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署	病院改革推進室				
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	50	企業会計負担金費（病院事業）		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費			
事業進捗度		—		目	05 病院・診療所費			
当初予算額		600,000,000 円	目的	市民の健康づくりを支援するため、地域医療体制と医療機関の施設設備の充実を図る。市立病院の経営健全化を図る。				
予算現額		709,804,000 円						
決算額 A		709,804,000 円						
財源内訳	国・県支出金	22,000,000 円						
	地方債	0 円						
	その他	0 円						
	一般財源	687,804,000 円						
人件費コスト B		1.0人役 6,996,000 円				総事業費 A+B	716,800,000 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【安来市立病院事業会計負担金】 709,804,000円 22,000,000円 0円 0円 687,804,000円

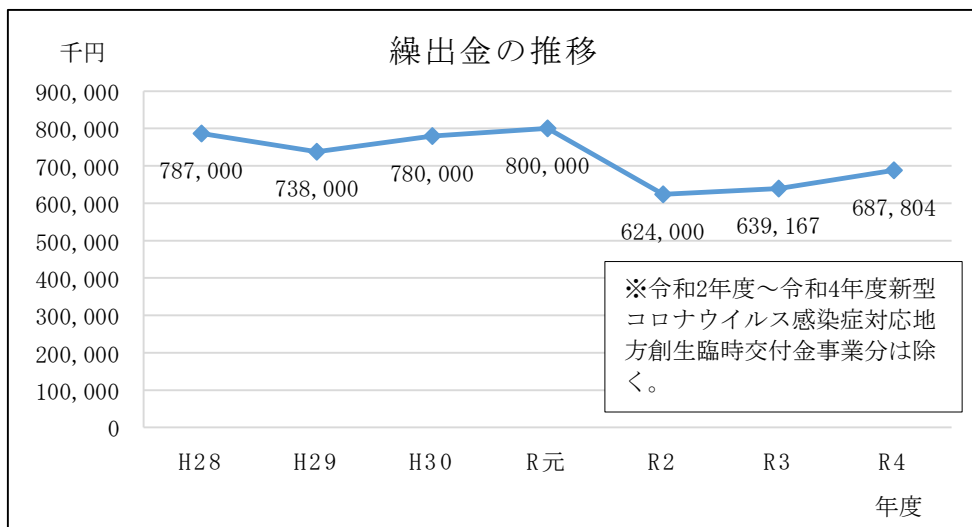
国が示す繰出基準に基づき、安来市立病院が行う不採算医療等の政策的医療を実施するために必要な経費に対して、負担金を支出した。

また、安来市立病院が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業に対し、国の交付金を財源として負担金を支出した。

●負担金の内訳	国の繰出基準に基づく負担金	687,804,000 円
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	22,000,000 円
	合計	709,804,000 円

負担金の推移 単位(千円)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
繰出基準分	787,000	738,000	780,000	800,000	624,000	639,167	687,804
コロナ交付金分	—	—	—	—	165,500	45,000	22,000
合計	787,000	738,000	780,000	800,000	789,500	684,167	709,804



※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署	病院改革推進室	
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	55	公立病院改革推進事業費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	05 病院・診療所費
当初予算額		2,700,000 円	目的	安来市における適切な医療提供体制の確保を図り、安来市立病院の果たすべき役割を明確にしながら、必要な医療機能を整備し、持続可能な病院経営を目指す。	
予算現額		971,000 円			
決算額 A		371,613 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	371,613 円			
人件費コスト B		3.0人役 20,988,000 円	総事業費 A+B	21,359,613 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【公立病院改革推進事業】	371,613円	0円	0円	0円	371,613円

安来市における適切な医療環境を保持していくため、総務省アドバイザーの助言のもと、持続可能な医療提供体制の構築に向けた検討を行った。

なお、当初予定していた「(仮称)安来市地域医療連携等あり方検討委員会」については、設置、開催に至らなかったため、検討委員委嘱に係る費用については、予算額に対し減額となった。

- 謝礼（総務省アドバイザー） 240,000 円
- その他（旅費、消耗品等） 131,613 円

【繰越明許】

決算事項別明細書

P83

大事業	10	保健・医療・福祉	担当部署	病院改革推進室	
中事業	10	市民の健康づくりの推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	55	公立病院改革推進事業費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和3年度		項	01 保健衛生費
事業進捗度		—		目	05 病院・診療所費
当初予算額		0円	目的	安来市における適切な医療提供体制の確保を図り、安来市立病院の果たすべき役割を明確にしながら、必要な医療機能を整備し、持続可能な病院経営を目指す。	
予算現額		7,181,000円			
決算額 A		5,190,900円			
財源内訳	国・県支出金	0円			
	地方債	0円			
	その他	0円			
	一般財源	5,190,900円			
人件費コスト B		0.0人役 0円	総事業費 A+B	5,190,900円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【公立病院改革推進事業】	5,190,900円	0円	0円	0円	5,190,900円
--------------	------------	----	----	----	------------

「(仮称)安来市地域医療連携等あり方検討委員会」を設置し、持続可能な医療提供体制の構築に向け、基本構想の策定を行う予定であったが、関係機関等との調整に時間を要したため、委託業務の内容の見直しを行い、安来市立病院のあり方について市の方針をとりまとめるまでにとどめ、決算額については予算額に対し減額とした。令和5年度では、この方針を基礎として、公立病院経営強化プランの策定を行う。

- 「(仮称)安来市地域医療連携等あり方検討委員会」 会議支援業務委託料 1,064,800円
- 安来市地域医療連携等基本構想策定支援業務委託料 4,126,100円

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課				
中事業	30	循環型社会の形成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	10	ごみ収集事業費		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	02 清掃費			
事業進捗度		—		目	02 塵芥処理費			
当初予算額		166,110,000 円	目的	一般廃棄物の円滑な収集運搬、地域の清掃活動の支援を図る。				
予算現額		160,965,000 円						
決算額 A		160,204,710 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	手数料外 50,883,448 円						
	一般財源	109,321,262 円						
人件費コスト B		1.5人役 10,494,000 円				総事業費 A+B	170,698,710 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【一般廃棄物収集運搬事業】	159,362,710円	0円	0円	50,883,448円	108,479,262円
<ul style="list-style-type: none"> ●市内で排出された一般廃棄物の円滑な収集及び運搬を行った。 ●不法投棄パトロールを実施し、不法投棄の防止活動を行った。 ●クリーンアップやすぎデーを実施し、自治会及び団体による環境保全活動を行った。 					
実施団体	129 団体	参加者数	2,969 人	回収量	2,180 kg
【廃棄物集積場設置整備費補助事業】	842,000円	0円	0円	0円	842,000円
●円滑なごみ収集を実施するために、集積場化を推進し、自治会が設置する集積場の整備費補助を行った。					
補助金交付件数	12 件	交付総額	842,000 円		
補助金の額	補助対象経費の1/2				
補助限度額	5世帯以上9世帯以下		50,000円		
	10世帯以上14世帯以下		100,000円		
	15世帯以上		150,000円		



集積場補助事業活用による自治会の集積場

						決算事項別明細書			P85							
大事業	60	自然・環境保全			担当部署		環境政策課									
中事業	30	循環型社会の形成			予算科目	会計	01	一般会計								
小事業	15	可燃ごみ処理施設運営費				款	04	衛生費								
事業開始年度		令和4年度				項	02	清掃費								
事業進捗度		-				目	02	塵芥処理費								
当初予算額		313,718,000 円			目的	可燃ごみ積替え施設を管理運営し、可燃ごみの適正処理を図る。										
予算現額		304,691,000 円														
決算額 A		285,709,416 円														
財源内訳	国・県支出金		0 円													
	地方債		0 円													
	その他	手数料	31,036,100 円													
	一般財源		254,673,316 円													
人件費コスト B		0.6人役	4,197,600 円								総事業費 A+B		289,907,016 円			
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【可燃ごみ処理施設運営事業】 285,709,416円 0円 0円 31,036,100円 254,673,316円</p> <p>清瀬クリーンセンター積替え施設の管理運営、可燃ごみの焼却処理委託業務等を行った。</p> <p>●施設管理運営費 5,101,280円</p> <p>●可燃ごみ焼却処理等委託料 280,608,136円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみ焼却処理業務 可燃ごみ処理量 7,696 t ・積替え運搬業務 ・可燃ごみ汚水積込運搬業務 																

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課				
中事業	30	循環型社会の形成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	20	不燃ごみ処理施設運営費		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	02 清掃費			
事業進捗度		—		目	02 塵芥処理費			
当初予算額		56,939,000 円	目的	不燃ごみ処理施設を管理運営し、埋立ごみの減量化を図る。				
予算現額		56,839,000 円						
決算額 A		56,619,511 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	手数料 2,762,720 円						
	一般財源	53,856,791 円						
人件費コスト B		0.8人役 5,596,800 円				総事業費 A+B	62,216,311 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【不燃ごみ処理施設運営事業】	56,619,511円	0円	0円	2,762,720円	53,856,791円

●不燃ごみ処理施設業務委託料 44,088,000円

市内3ヶ所の不燃ごみ処理施設の管理運営、中間処理委託業務を行った。

- 高尾クリーンセンター 不燃物の受入、ビンの選別、粗大ごみ及び金属類の選別・破碎処理
- 広瀬一般廃棄物最終処分場 不燃物の受入
- 伯太一般廃棄物最終処分場 不燃物の受入、缶の選別・プレス処理

令和4年度 不燃ごみ処理施設別 搬入手数料

	件数	金額
高尾	3,501	2,195,400円
広瀬	741	417,210円
伯太	194	150,110円
合計	4,436	2,762,720円

不燃ゴミ処理量 (t)

金属類	ビン類	粗大ごみ	缶類
156	138	462	22

●施設管理運営費 12,531,511円

- ・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 8,192,093円
- ・役務費（通信運搬費、手数料、保険料） 695,363円
- ・委託料（電気保安業務、浄化槽清掃業務） 456,720円
- ・使用料及び賃借料 2,258,000円
- ・工事請負費 528,000円
- ・備品購入費 401,335円

大事業	60	自然・環境保全	担当部署		環境政策課
中事業	30	循環型社会の形成	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	最終処分場運営費		款	04 衛生費
事業開始年度		令和4年度		項	02 清掃費
事業進捗度		—		目	02 塵芥処理費
当初予算額		11,697,000 円		目的	最終処分場を管理運営し、浸出水の適正処理を図る。
予算現額		11,623,000 円			
決算額 A		11,295,655 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	11,295,655 円			
人件費コスト B		0.8人役	5,596,800 円	総事業費 A+B	16,892,455 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【最終処分場運営事業】	11,295,655円	0円	0円	0円	11,295,655円
広瀬一般廃棄物最終処分場、伯太一般廃棄物最終処分場、クリーンセンター穂日島の埋立処分場の管理運営、浸出水の適正処理を行った。					
伯太一般廃棄物最終処分場埋立処分量	容量	647 m ³	重量	439 t	

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課				
中事業	30	循環型社会の形成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	30	ごみ減量化・資源化推進費		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	02 清掃費			
事業進捗度		—		目	02 塵芥処理費			
当初予算額		58,386,000 円	目的	ごみの減量化、資源化を図る。				
予算現額		45,297,000 円						
決算額 A		42,698,978 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	手数料外 28,590,775 円						
	一般財源	14,108,203 円						
人件費コスト B		1.3人役 9,094,800 円				総事業費 A+B	51,793,778 円	

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源

【資源ごみ再生処理事業】 42,698,978円 0円 0円 28,589,775円 14,109,203円

●リサイクルの推進を図るため、古紙類、鉄類、缶類等の廃棄物の再資源化処理を行った。

資源化物売却収入

売却金額 13,042,583 円

資源ごみ再生処理・運搬委託料

- ・再生処理委託料 16,980,909 円
- ・運搬業務委託料 3,137,332 円

●ごみ収集指定袋を作製し、販売店を通じて販売を行った。

- ・安来市ごみ収集指定袋作成費 13,950,200 円
- ・ごみ収集指定袋管理業務委託料 1,517,340 円
- ・ごみ収集指定袋販売手数料ほか 5,926,779 円
- ・その他（旅費、消耗品費） 1,186,418 円

大事業	60	自然・環境保全	担当部署	環境政策課				
中事業	30	循環型社会の形成	予算科目	会計	01 一般会計			
小事業	35	廃棄物処理施設整備事業費		款	04 衛生費			
事業開始年度		令和4年度		項	02 清掃費			
事業進捗度		—		目	02 塵芥処理費			
当初予算額		14,473,000 円	目的	各廃棄物処理施設の施設整備を実施することで、経済的かつ効率的な施設運営及び廃棄物の適正処理を図る。				
予算現額		14,685,000 円						
決算額 A		14,683,900 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	基金 13,000,000 円						
	一般財源	1,683,900 円						
人件費コスト B		0.4人役 2,798,400 円				総事業費 A+B	17,482,300 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【廃棄物処理施設整備事業】	14,683,900円	0円	0円	13,000,000円	1,683,900円

清瀬クリーンセンター、高尾クリーンセンター、伯太一般廃棄物最終処分場及び対仙浄園の施設維持管理のための施設整備を実施した。

- 高尾クリーンセンターストックヤード改修工事 (事業費 2,140,600 円)
- 対仙浄園活性炭原水槽防食被覆工事 (事業費 10,890,000 円)
- その他工事 (事業費 1,182,500 円)
- 修繕料、自動車借上料外 (事業費 470,800 円)



着工前



着工後

対仙浄園活性炭原水槽防食被覆工事

				決算事項別明細書		P85									
大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		下水道課									
中事業	40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計								
小事業	35	コミュニティ・プラント運営費			款	04	衛生費								
事業開始年度		令和4年度			項	02	清掃費								
事業進捗度		-			目	03	し尿処理費								
当初予算額		2,560,000 円		目的	汚水処理施設（コミプラ）の定期的な維持管理により下水道事業の経営安定に資する。										
予算現額		2,618,000 円													
決算額 A		2,110,954 円													
財源内訳	国・県支出金		0 円												
	地方債		0 円												
	その他	使用料	1,121,729 円												
	一般財源		989,225 円												
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B		2,110,954 円									
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【コミュニティ・プラント運営費】 2,110,954円 0円 0円 1,121,729円 989,225円</p> <p>福頼団地のコミュニティ・プラント施設の定期的な維持管理費</p> <p>(単位：戸、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理施設名</th> <th>供用開始戸数</th> <th>接続戸数</th> <th>接続率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福頼団地コミプラ</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>								処理施設名	供用開始戸数	接続戸数	接続率	福頼団地コミプラ	27	27	100.0
処理施設名	供用開始戸数	接続戸数	接続率												
福頼団地コミプラ	27	27	100.0												

				決算事項別明細書		P85				
大事業	50	都市基盤・生活		担当部署		環境政策課				
中事業	40	上下水道の整備		予算科目	会計	01	一般会計			
小事業	40	し尿処理施設運営費			款	04	衛生費			
事業開始年度		令和4年度			項	02	清掃費			
事業進捗度		-			目	03	し尿処理費			
当初予算額		120,313,000 円		目的	し尿処理施設の適正管理を図る。					
予算現額		118,476,000 円								
決算額 A		117,835,157 円								
財源内訳	国・県支出金		0 円							
	地方債		0 円							
	その他		0 円							
	一般財源		117,835,157 円							
人件費コスト B		0.3人役	2,098,800 円	総事業費 A+B		119,933,957 円				
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【し尿処理施設運営事業】 117,835,157円 0円 0円 0円 117,835,157円</p> <p>対仙浄園汚泥再生処理センターの施設運営を5年間(令和3年～令和7年)の包括的運営管理委託とし、長期的な経費の節減を図るとともに、維持管理の効率化及び安定した適正処理を図った。</p>										
搬入量(K0)		<table border="1"> <tr> <td>し尿</td> <td>浄化槽汚泥</td> </tr> <tr> <td>2,843</td> <td>6,910</td> </tr> </table>		し尿	浄化槽汚泥	2,843	6,910			
し尿	浄化槽汚泥									
2,843	6,910									
搬出量(t)		<table border="1"> <tr> <td>脱水汚泥</td> <td>し渣</td> <td>沈砂</td> </tr> <tr> <td>164</td> <td>49</td> <td>6</td> </tr> </table>			脱水汚泥	し渣	沈砂	164	49	6
脱水汚泥	し渣	沈砂								
164	49	6								